

先進地視察研修会・報告

環日本海拠点都市・田園型政令指定都市をめざして

— 長野・新潟視察報告 —

1. 視察の概要

〈視察行程〉

第1日目（平成16年10月20日）

前橋市→①北軽井沢アウトレット→②海野宿→③善光寺→④新潟市

第2日目（平成16年10月21日）

⑤りゅーとぴあ（新潟市民芸術文化会館）→⑥バスセンター→⑦朱鷺メッセ→前橋市

2. 視察先の紹介

- ①北軽井沢アウトレット
- ②海野宿
- ③善光寺
- ④新潟市の概況
- ⑤りゅーとぴあ（新潟市民芸術文化会館）
- ⑥バスセンター（タウンウォッチング）
- ⑦朱鷺メッセ

3. 政令指定都市をめざして

合併決定の経緯

2001年1月 黒崎町を吸収合併

2005年3月 白根市、豊栄市、小須戸町、横越町、亀田町、岩室村、西川町、味方村、
潟東村、中之口村の2市・4町・4村と合併

合併後の人口 773,303人（全国17位）

2. 視察先の紹介

① 軽井沢アウトレット『プリンスショッピングプラザ』

平日で、しかも悪天候の中にもかかわらず、来客者が多い。



モール内部の様子



飲食店

② 長野県東御市『海野宿』

宿場町の街並み保存。海野宿独特の建築様式（うだつ、海野格子等）がある。

道の中央を流れる用水、その両側には格子戸のある美しい家々が並ぶ。



海野宿の街並み



うだつ



海野格子

③ 長野市 善光寺

長野駅より善光寺へと進む。駅前通りから善光寺表参道を通り、善光寺へと進む。表参道は直線にするとおよそ3kmで、通り沿いには商店が立ち並び賑わいを見せている。



本堂



参道



仲見世通り



④ 新潟市の概況

新潟市は、人口約80万人を抱える本州日本海側最大の都市。新潟県の北東部にあたる下越地方の中心都市で、中核市に指定されている。2005年3月21日に周辺12市町村を編入合併し、日本一水田面積が広い市となった。また、10月10日には巻町の編入も控えており、2007年4月1日に「田園都市型政令指定都市」への移行を目指している。

信濃川と阿賀野川の河口に堆積した沖積平野の上に発展した街であり、面積は231.94km²、海岸線に沿って約38kmで、海岸線に沿った細長い形状をしている。

土地は平坦で、海岸線に沿って砂丘地が広がり、その背後に防砂・防風林である松林があり、市街地を冬の季節風から守っている。かつては大小の潟や沼のある低湿地帯であった内陸部は、土地改良事業により豊かな稲作農地となっているが、近年、市街化の波が押し寄せている。

本市は、市街地中央を南北に貫流する信濃川により東新潟と西新潟に分かれており、東新潟には河口港である新潟西港を中心とした港湾・工業地域、その後背地に古くからの住宅街及び新興住宅地、新潟空港があり、新潟駅周辺地区から万代地区にかけてビジネス街・商業地域がある。また、東の端にある新潟東港地区は、大規模な臨海型工業機能と流通業務機能を有し、本市の産業開発拠点となっている。

西新潟には古町地区を中心とした商業地域、西大畑、白山地区に官庁街があり、関屋地区から坂井輪、内野地区にかけて住宅地域が広がっている。また、西の端にはラムサール条約の登録湿地である佐潟がある。

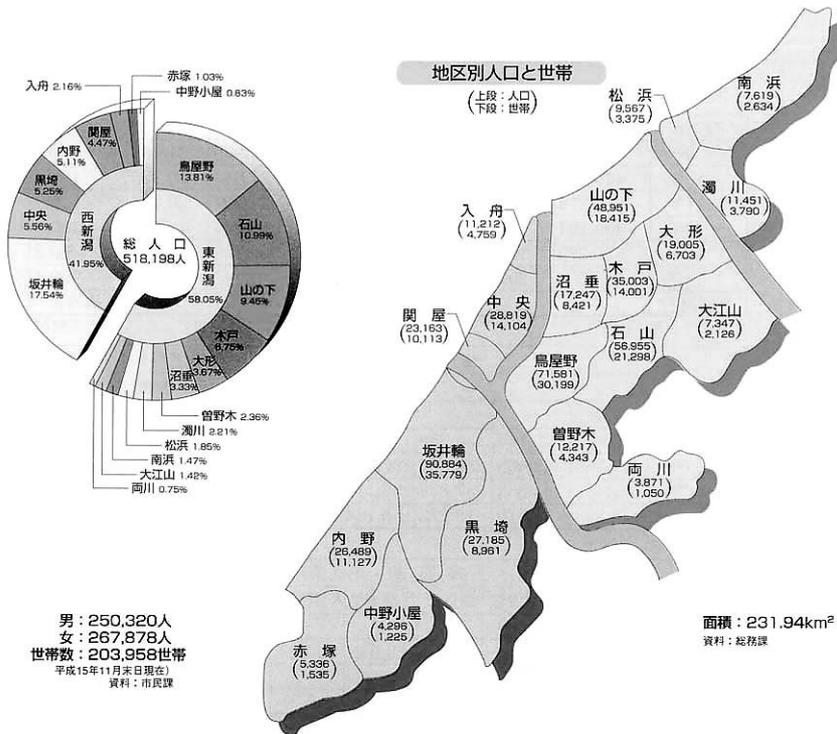
(新潟市HPより抜粋)

新潟市主要統計指標

年次	人口	世帯	人口動態				消費者物価指数 平成12年=100
			出生	死亡	転入	転出	
平成8年	486,371	179,392	4,755	3,114	21,527	21,421	97.2
9年	487,429	181,926	4,584	3,313	20,929	21,143	99.4
10年	488,814	184,612	4,661	3,388	21,042	20,930	101.0
11年	489,216	186,839	4,489	3,610	20,307	20,784	100.9
12年	490,194	189,099	4,533	3,419	19,847	19,983	100.0
13年	517,779	199,910	4,838	3,636	20,398	20,399	99.2
14年	518,001	202,001	4,517	3,692	19,542	20,145	98.4
資料出所	市民課						総務省

注) 人口・世帯数は住民基本台帳による。(各年末現在)

年次	国勢調査 (各年10月1日現在)							
	人口			世帯数	産業3部門別就業者数			昼間人口
	総数	男	女		第1次産業	第2次産業	第3次産業	
平成2年	486,097	235,765	250,332	166,789	7,312	58,074	170,504	535,741
7年	494,769	240,403	254,366	182,534	6,626	60,114	183,058	548,597
12年	501,431	243,552	257,879	195,119	5,318	55,089	183,841	553,008
旧黒崎町12年	25,893	12,670	13,223	8,164	851	3,505	9,517	22,708



⑤ りゅーとびあ（市民芸術文化会館）

コンサートホール、劇場、能楽堂の3つの専門ホールを備えている。近隣に市民ホール、音楽ホールがあるが、両施設に比べ、より専門的機能を持っている。

新潟市と教育委員会も設立に協力している劇団は、この施設を拠点とした活動に加え全国の各都市で公演を開いており、新潟から全国へ向けての文化の発信を試みている。能楽堂は、実際の利用率こそ少ないものの、能の演舞だけではなく、音楽会などの様々な用途な会場に提供することで施設利用の可能性を広めている。また、建築的には環境面に配慮しており、屋上の緑化、雨水の利用につとめている。



外 観



外部通路



ロビー



ロビー



能楽堂





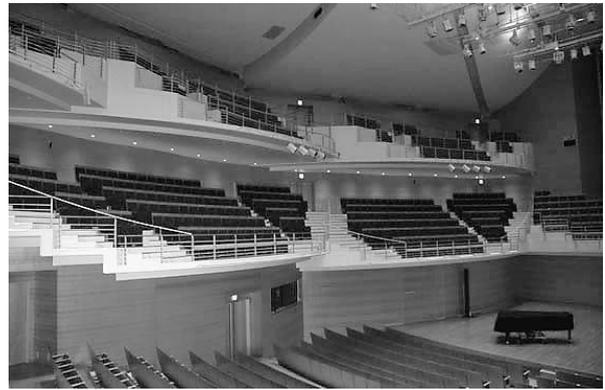
舞台裏



楽屋入口



コンサートホール



屋上庭園



屋上カフェ

⑥ バスセンター

万代シテイバスセンター（ばんだいシティー）は、新潟市万代一丁目、万代シテイ内にあるバスターミナル。新潟交通が運営しており、新潟市近郊・郊外の路線バスと、長距離高速バスの発着点となっている。

1951年2月、新潟市流作場、現在の新潟テレコムビルの位置に完成した「新潟交通バスステーションビル」（通称・バスビル）が前身。新潟県内では初の本格的なバスターミナルで、市内線のバスが発着する新潟駅前に対し、バスビルからは近郊・郊外線のバスが発着していた。老朽化と新潟交通本社用地の再開発に伴い、1973年11月に新潟交通本社とテナント群を擁す現ビルに移転し、現名称となる。

バスセンタービルの1階がバスセンターとなっており、1～10番線の乗り場はビル2階部分を覆う人工地盤下に内包されている。11・12番線と附船町行は新潟市道（東港線）に面するバスベイが乗り場となっている。尚、バスセンター内の乗り場は発車のみで、万代シテイ周辺に降車場が設けられている。



バスセンター



⑦ 朱鷺メッセ

朱鷺メッセは国際展示場、国際会議場、ホテル、美術館、オフィス等を一体化した複合コンベンション施設である。全長350mのエスプラナードが各施設を連繋するとともに、信濃川に開かれた都市回廊としてウォーターフロントの散策やくつろぎの場にもなっている。ガラスと金属による軽やかで透明感のある表層を持つ、水平性と垂直性が対比されたシルエットは、島全体の新しいランドスケープの核となっている。



朱鷺メッセ外観



内部



展望ロビーより信濃川を望む



万景峰（マンギョンボン）号

3. 政令指定都市をめざして

『新潟市の現状及び政令指定都市実現に向けた取組みについて』

出席者：新潟市企画財政局広域合併推進部 政令指定都市推進課課長補佐 渡辺 昭雄氏

新潟商工会議所 政令指定都市推進特別委員長 与田 一憲氏

新潟商工会議所 事業部長 小池 秀明氏

新潟商工会議所 事業部総合政策課課長代理 井上 達也氏

新潟商工会議所 事業部総合政策課主任 北山 晃也氏

新潟市は常に仙台市と競争してきた。(政令指定都市の運動、グアム路線の取合い等)そして常に仙台に1歩先を行かれている。仙台市や他の都市を物真似したまちづくりを行ってはいけない。

新潟市がまちづくりを行う上で欠けているもの、それは **危機感** である。

→危機感が欠落しているから、住民も市町村議員も動かない。

■ 議長・議員をまとめる

議員・議長の意見が市町村合併の大きなポイントとなるのに、実際は他の地域の議員同士で意見を交換する機会が無いのが現状である。そこで、議員・議長同士の意見交換の場所をつくる。(→議員同士で他の広域連合を視察に行く機会を設けた)

視察結果：広域連合の全ての機能が動くのは難しい。

最後には「自分のところが」というエゴが出てしまう。

意見の交換の場(懇話会)のおかげで、議員同士の顔が見えるようになった。

⇒エゴがでなくなる。(各市町村の議員、議長をうまい形で巻き込むことに成功した。)

※ 商工会議所(民間)の役割は、**市町村の橋渡し+合併の下地作成(問題提起)**である。

【新潟市の場合】

豊栄市の市長 — 初めは合併反対であったが、自ら合併について勉強されて、率先して広域連合推進の運動を行ってくれた。新潟市広域合併の必要性を訴えると共に、新潟市以外の市町村の議員・議長の総辞職(豊栄市自身も含む)を強く訴えた。その結果、まわりの市町村は豊栄市にならって新潟市以外の全ての議会の総辞職を了承した。

■ 危機感を煽り、合併運動を促す

人口の減少 → 商業の衰退 → 人口の自然増加は期待できない！ → 社会増をめざすしかない
→ 税収の減少

※ 社会増＝地域の産業を増やし、就業者・就学者数を増やす。(周辺中核市町村とのパイの取合い)

⇒新潟市に人を呼び込む

そのためには『市町村合併』するのが効果的。

- ・いかにしてデメリットを少なくして合併を行うかがポイントとなる。
- ・人々が住みたいと思うまちづくりを、どのように行っていくか？

「住みたい」と思うまちとは？ 個性とアメニティ（快適性）のあるまち

→地域ごとの役割が明確にある 中心だけが魅力的なまちではいけない。

『合併してどうするか』というビジョンを住民に明確に示す。

【新潟市の場合】

新潟市独自のもの、世界へ向けて発進できるもの、将来有効に利用できるもの…

「バイオ」を前面にだした政策づくりを行う。 (新潟薬科大学、新潟大医学部、日本酒等の基盤はある)

合併する全市町村の5ヵ年計画を全てチェックした。→ どの市町村も似たような計画だった。

①合併後の市町村の役割分担を指定した(会議所の独断で) → 合併後のまちづくりの方向性となる

※ この時、一番良い役割を一番大きな市に割当てないことが重要。

(新潟市にはゴミ焼却施設を持ってくる 等)

②ビジョン作成委員会(大学関係者、マスコミ関係者等を含める) → ランドデザインの作成

「新潟」は位置的に、東北にも近い、中部にも近い、関東にも近い。

その中での新潟市を造っていくのか？

→いずれもNO! 『アジアの玄関口、にいがた』 というまちづくりを行う

緑豊かな国際商業都市＝アジアのゲートウェイ となるべく、日本ではなく世界へ目を向けてのまちづくりをしていく必要性と、そのことが可能な位置にある。

東京・名古屋等と競争していくのか？ → 無駄 東京には勝てない ⇒ 新潟の役割とは？
名古屋には勝てない

どんな都市づくりをめざすのか？→『国際コンベンション都市』 ex. ミュンヘン

『人を呼び込む』+『自分たちで都市を造っていく』

新潟ではどんな会議が可能か ex. 食料会議、種苗会議… (「バイオ」に関連させて)

→新潟から世界へ向けて、情報を発信することができる。

※ 合併したあと、何をしていくか、都市の役割を明確にする。

新潟の市町村の役割 (ミクロ的な役割)

日本の中の新潟の役割 (マクロ的な役割)

アジアの中の新潟の役割 (" 役割)

■ 市町村合併後に必要な事

① 議会の活性化

合併は何故行うのか？何の為に？誰の為に？という議論を行う必要がある。

② 議員の政策立案能力の向上

③ 財政力の担保 (財政力=自由に使用可能なお金)

合併後 税収400億円の増の見込み (仙台市は600億円の増だった)

例えば、「出生率の低下」という問題をとってみると…

出生率の原因として — 女性の社会進出

教育費にお金が掛かりすぎる世の中

⇒ そこで、②の

「議員の政策立案能力」が
発揮される

戦略会議の開催 → 合併後、どのようなまちづくりを行うか、議論を行う。

北九州市の「35年目の総括」(日本で最初の政令指定都市)

政令指定後35年を迎えての①反省点②良かった点③将来めざす方向は、の総括を行った。

■ JCの役割

各地域の若手 (JC) をネットワーク化して、情報提供+意見交換してもらう。

※ コントロールは常にこちら側で行い、上手く活動を行ってもらう。

先進地視察・賑わいの街づくりを目指して

— 栃木・宇都宮視察報告 —

日時：平成17年3月24日(木)

視察先：栃木県栃木市蔵の街

栃木県宇都宮市 ビッグバンバ春2005及び市内散策
群馬県勢多郡東村 新・富弘美術館

1. 栃木県栃木市 蔵の街

■ 大通り沿いの蔵の街

歩道は広く、歩き易い。案内の看板も設置されてあって街散策の整備がされてある。

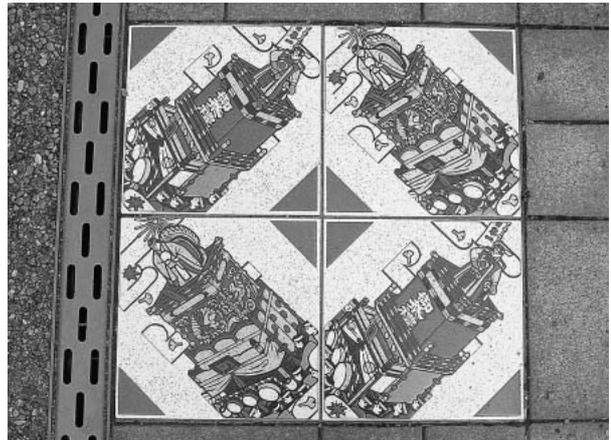
外灯やストリートファニチャーは、蔵の街に馴染むようなデザインがされてある。



■ 巴波（うずま）川沿いを歩く

かつて銀行や質屋として使用していた建物を、飲食店や資料館として開放している。

道の舗装も、通りによって石の組み方が異なっていたり、使用している石材が異なっていたり、様々な趣向が凝らされている。



かつて質屋だった建物を資料館として入場無料で開放している。



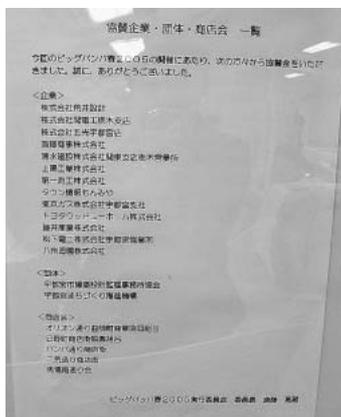
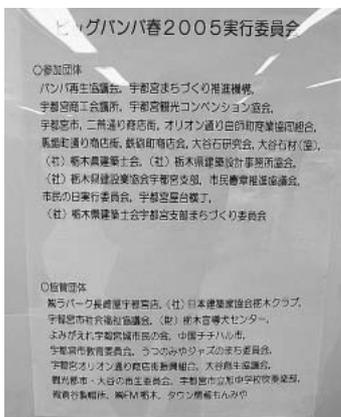
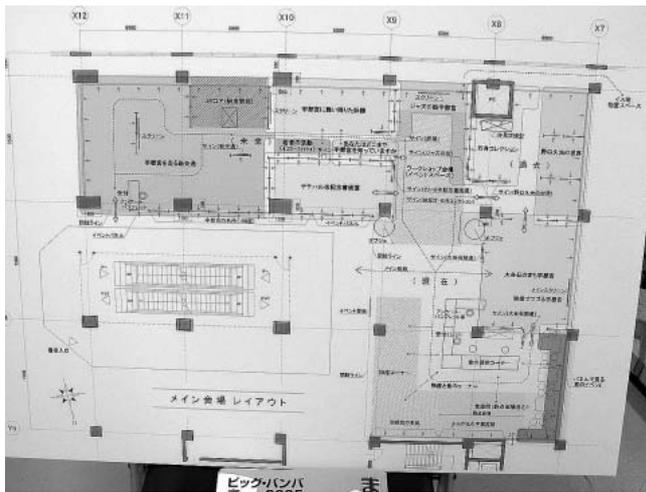
2. 栃木県宇都宮市

■ ビック・バンパ2005春

宇都宮のまちづくりを、『過去、現在、そして未来へ…』というテーマのもと中心市街地再発見、新交通システムLRTの紹介等の展示を行っている。中心市街地の百貨店の中にメイン会場を置き、サテライト会場として商店街のイベント会場や市民センター等と連携して各種イベントを行っている。

実行委員会より

『餃子のまち宇都宮』だけでなく、ジャズ、大谷石、カクテルといった新たな面でのまちづくりを進めている。商工会議所を中心とした「TMO」（宇都宮タウンマネージメント機関）、行政と民間を主体とした「宇都宮まちづくり推進機構」とまちづくり団体があり、市民を巻き込んだの活動を目指している。しかし、今のところ上手く関連しているとは言えない。今後は各団体、市民、行政の役割分担や目的を明確にして活動を行っていく事が課題。



■ 宇都宮市 市街地見学

JR宇都宮駅と東武宇都宮駅を繋ぐアーケードを散策。通りは高校生や若者で賑わっている。アーケードの中は若者向けの店だけでなく、生鮮食品店や老舗の店も並んでおり、地元にも強く密着しており、地域の人にもよく利用していることがうかがえる。中央部にはイベントの為に使用できるスペースがあり、音響、照明施設も設置されている。

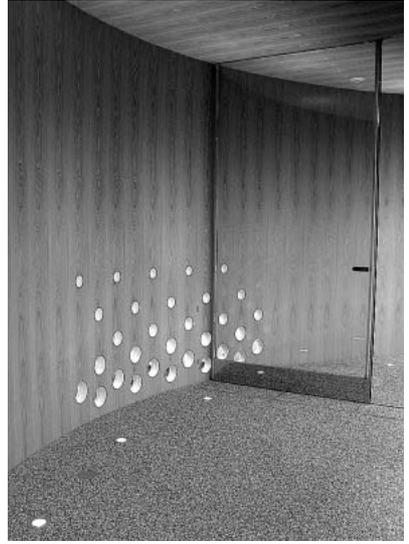


3. 群馬県勢多郡東村

■ 新・富弘美術館

33個の円形の部屋がそれぞれの機能を持ち並んでいる。建物に中心性は無く、見学者が回遊できるような配置としている。それぞれの部屋の仕上げ素材は異なったものを使用しており、部屋を進む度に違った表情を見せてくれる。





■ 宇都宮市中心市街地及び「ビッグ・バンバ春2005」

専門委員 鈴木孝尚

2005年春の宇都宮の中心市街地はとてにぎやかだった。かつて「バンブラ」なる言葉があったという「バンバ通り」を中心に「バンバのにぎわい復活を」を合言葉に郊外店に対抗して中心市街地の活性化を図るイベント「ビッグ・バンバ春2005 まちづくり博覧会～過去、現在そして未来へ～3/19(土)-3/27(日)(9日間)」を視察しました。

メイン会場の「ラ・パーク長崎屋」6階催事場では、「大谷石のまち宇都宮」「宇都宮に舞い降りた妖精」「宇都宮を走る新交通」「よみがえれ！宇都宮城」「宮あるき探偵団活動」「チチハル姉妹友好都市」「映像でつづる宇都宮」「若者の活動紹介」「パネルで見る宮のイベント」「街の中のもう一つの絵画～野口久光の世界～」「ジャズのまち宇都宮」「宇都宮の風景百選」という多くの宇都宮の地域資源のコーナーが展示されていました。

一番広い「宇都宮を走る新交通」コーナーは、LRTの模型が走る大通りのジオラマやCGの放映やストラスプールとオルレアンでのLRTの写真などで市民への熱いメッセージが展示されていました。



「LRTがまちを変える」(「新交通システム導入基本計画策定調査」報告書の概要)という宇都宮市のパンフレットのキャッチフレーズの通り、精力的に「まちづくりと交通に関する懇談会～交通の視点からのまちづくりを一緒に考えませんか～」(主催 宇都宮市・県央地域における新交通システム導入促進協議会)を開催されています。宇都宮の大通りを走るLRTの実現がそんなに遠くではないと思われました。

また、まちをいろいろな面から捉えたマップも数多くあり、「宇都宮餃子マップ」「宇都宮屋台横丁マップ」「宇都宮カクテル倶楽部マップ」「UTSUNOMIYAJAZZMAP」などがありました。大谷石建造物のある風景を、宇都宮の貴重な地域資源として大切に作るコンセプトで作られた「石の街 うつのみや ― 景観・建築マップ ―」は、とても素晴らしいものであります。参考までに、明治村に保存されているフランク・ロイド・ライト設計の旧帝国ホテルは宇都宮の大谷石で建造されたものです。

このメイン会場の「ラ・パーク長崎屋」は、大規模小売店舗立地法（大店立地法）の手続を簡素化し、大型店の出店を促進して中心商業地の空洞化に歯止めをかけようと、構造改革特区の認定を受けた「宇都宮にぎわい特区」の第1号の適用により、通常8ヶ月ほどかかる出店手続を2週間ほどに短縮して、空き店舗となっていた西武百貨店跡に出店したものだそうです。

オリオン通りには多くの市民が歩いていて若い人が目立っていた。空き店舗も少なく活気のある商店街でした。決して洗練された都会的というのではなく、宇都宮らしい生活感のある商店街でした。西武百貨店跡に出店した「ラ・パーク長崎屋」も、デパートというより庶民的なスーパーというような気軽な感じでした。



◇参考HP

「ビッグバンバ春2005」計画書

http://www2.ucan-ltd.co.jp/kikou/07_info/bigbamba2005.htm

宇都宮市「新交通システム」

<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kikaku/shinkotsu/index.htm>

雷都レールとちぎ

<http://www.t-lrt.com/contents.html>

宇都宮LRTストーリーミングビデオ

http://www2.ucan-ltd.co.jp/kikou/02_katsudo/13_lrt/13_lrt.htm

宇都宮市

<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/>

宇都宮まちづくり推進機構

http://www.ucatv.ne.jp/~u_kikoh/index.htm

宇都宮まちづくり交流センター・イエローフィッシュ

<http://www.ucatv.ne.jp/~kibuna/>

うつのみやジャズのまち

<http://www.u-jazznomachi.com/top.html>

宇都宮屋台横丁

<http://www.utsunomiya-yataiyokocho.com/index.html>

カジュアル宇都宮

http://homepage2.nifty.com/mct/index_j.html